TOPICS&INFORMATION

「KORN`S BOWL CLASSICS」が1年ぶりに開催 競技後はアプローチ上で生バンドLIVEも！

▲競技後にアプローチ上で開催された生バンドLIVEのひとコマ。右は東京ポートボウル公式アンバサダーの黒田アーサー氏

アーティストのBro.KORN氏が主宰するボウリング大会「KORN`S BOWL CLASSICS」が8月30日、東京ポートボウルで開催された。昨年9月以来1年ぶりの開催で、今回が節目の第10回大会だった（前回会場は東京ドームボウリングセンター）。

腕前を問わないフリーエントリーのハンデ戦（3G）という競技の輪郭は変わらないものの、今回は新型コロナウイルスの感染予防対策として、参加者を90名（ゲストプロを除く）、1ボックスの人数を4名に制限し、ヨーロピアン方式を採用。競技中もマスク着用を義務付けるなどの対策が施された。

▲協賛社のABSからゲスト参加の井口直之（左）、斉藤志乃ぶ（右）両プロと記念の自撮り（写真はいずれも近藤信秋氏のFacebookより）

競技には、ポートボウルの公式アンバサダーを務める俳優の黒田アーサー氏や、ものまねタレントのミラクルひかるさんら、KORN氏ゆかりのボウリング愛好家も多数参加。競技後にはアプローチ上で生バンド LIVEが開催され、KORN氏がバブルガム・ブラザーズのヒット曲『WON`T BE LONG』などを熱唱して参加者を楽しませた。

同大会は昨年まで年2回ペースで開催されてきたが、今年はコロナ禍の影響でこの1回限り。KORN氏は「コロナが少しでも落ち着いたら、来年また開催します」と、大会の継続を明言している。

北海道ボウリング場協会 with コロナへの取り組み 全道ジュニアキャンペーンを開催中

新型コロナウイルスの影響で、全国のボウリング場は深刻な打撃を受けているが、北海道ボウリング場協会では、安心・安全な取り組みをアピールしようと“Save the bowling”と銘打って積極的にキャンペーンを仕掛けている。

同協会の黒田信幸会長は「ボウラーはかなり戻ってきてくれていますが、一般のお客さんが少ないですね。書き入れ時のお盆も例年の半分ぐらいでした。といって、ただ手をこまねいているわけにはいかないです」

9月1日から15日までは、全道ジュニアボウリングキャンペーンを実施している。幼児から高校生までを対象に、期間中に2G投げるとオリジナルリストバンドがもらえるほか、スコアを登録しておけば、後日集計して上位入賞や飛び賞などの賞品が贈られる。またキャンペーンに合わせ、PR動画や告知ポスターを制作したほか、日刊スポーツと北海道新聞に、計7回広告を出稿している。

「今年はコロナの影響で、夏休みに毎年やっていた全道ジュニアボウリング大会もやれていないので、フリータイムのキャンペーンという形にしました。新聞広告は、キャンペーンの告知とともに、半分は一般の方に安心してご来場いただけるように『安心・安全取組宣言』をアピールする内容です。さらに10月1日からは、キャンペーンの第3弾として、一般のボウラー向けのフリータイムコンペをスタートさせます」と、あくまでもアグレッシブにwithコロナ時代を生き抜く決意だ。

▲8月26日付の日刊スポーツに掲載された広告

第44回関西ジュニア選手権大会

コロナに負けるな！ 関西のジュニアが躍動

第44回関西ジュニアボウリング選手権大会が、8月10日、京都・キョーイチボウル宇治で行われた。

会場は例年満杯になるが、新型コロナウイルスの渦中とあって、部門ごとに入場受付を行い、他部門の応援は控えるように要請したほか、保護者の入場は各選手1名に限るなど、密を避けるためのさまざまな配慮をしたうえでの開催となった。

今大会には高校生28名、中学生21名、小学生19名が参加した。目標としていた夏の全国大会は1月に延期になった。またボウリングに限らずさまざまな行動制限のなかで、気持ちの発散場所が少なかった子供たちは、久しぶりの仲間との再会を喜び、元気いっぱいのプレーを見せていた。

▲小学生の部優勝・立花仁貴選手

▲左から個人総合、中学女子優勝・坂田望実、中学男子優勝・久米一寧、高校女子優勝・立花沙貴、高校男子優勝・大藪信太郎の各選手

トーナメントカレンダー

開催日	大会名	開催センター
≪プロ・オープン≫		
9月24日（木）	ドリスタ メンズカップ2020	ドリームスタジアム太田（群馬）
10月9日（金）～10日（土）	第36回六甲クイーンズオープン	神戸六甲ボウル（兵庫）
10月11日（日）	CRYSTAL CUP・女子	神戸六甲ボウル（兵庫）